

# パレットの契約に関する課題ヒアリング結果

---

「第3回官民物流標準化懇談会」で示した標準仕様パレットに関して、特に運用面に対して、着荷主の理解の醸成が必要とのコメントが多数

### 官民物流標準化懇談会のコメント（抜粋）

- 一番の問題は運用であるが、とりまとめにおいては、着荷主側の観点不足しているように思う。今回まとめたものの実際の推進に当たっては、着荷主に様々な費用負担が出る。パレットのレンタル料金のほか、例えば、荷降ろしのためのフォークリフト、設備、あるいは人員をどうするのか。企業は経済原則で動くため、標準化によるメリットと、標準化しなかった場合のデメリットを理解できなければ、将来に向けての投資ができない。こうした企業行動を踏まえた中で実効性のある推進策をつくっていただく必要がある。
- 着荷主や、最終消費地のスーパーまで費用負担も含めて賛同いただけないため、議論が進まない状況である。
- 荷主の賛同を得られるまでの間待つのではなく、取組を進めるのも大事だと考える。
- それぞれの標準化は物流事業者だけではできないので、発荷主、特に着荷主で、標準化にぜひお力添えをいただきたい。

標準仕様パレットの運用に関して、着荷主（卸売事業者）に対するヒアリングを実施

# ヒアリング結果

## 着荷主（卸売り事業者）3社に対するヒアリングを実施

	内容	A社	B社	C社
Q1	発荷主（メーカー）からレンタルパレットでの納品はあるか。 また、ある場合、レンタルパレットと自社パレットの割合はどの程度か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>レンタルパレットが主流であり</u>、自社パレットはほぼ無い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>レンタルパレットが主流であり</u>、自社パレットの利用は減ってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>レンタルパレットが主流であり</u>、全体の7～8割程度である。</li> </ul>
Q2	レンタルパレットでの納品がある場合、複数のレンタルパレット事業者のパレットが届くか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>複数社のレンタルパレットが届く。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>複数社のレンタルパレットが届く。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>複数社のレンタルパレットが届くが</u>、大半は1社が占めている。</li> </ul>
Q3	発荷主（メーカー）との売買契約等の中に、レンタルパレット管理（返却時のパレットの仕分け・回収の主体等）に関する内容は含まれているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>含まれていない。</u></li> <li>● <u>売買契約上に物流に関する文言がほぼなく</u>、パレットに関しても同様である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>含まれていない。</u></li> <li>● <u>売買契約上に物流に関する事項は盛り込んでいない。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>含まれていない。</u></li> </ul>
Q3-1	（含まれていない場合）売買契約等の中にレンタルパレット管理（返却時のパレットの仕分け・回収の主体）に関する内容を検討したことはあるか、また、今後検討を考えているか。また、検討を考慮する際に、社内外での課題や政府、ステークホルダーに求めることはあるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 発着荷主間で契約を結ぶのではなく、レンタルパレット事業者との契約のみで良いのではないか。発着荷主間の契約だと、パレットの枚数管理等、運用面で煩雑になる恐れがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パレットの管理を含んだ契約を検討したことはない。</li> <li>● 空パレットを種別に仕分けることは困難であり、管理工数が増えてしまう。</li> </ul>	

# ヒアリング結果

	内容	A社	B社	C社
Q4	各レンタルパレット事業者との間で、 <u>レンタルパレット利用者がレンタルパレットの適切な管理や保管等の責務を有する旨を規定する契約等</u> を行っているか。	● <u>一部のレンタルパレット会社とは契約を交わしており</u> 、一部のセンターに入ったタイミングで名義変更をしている。	● 契約は交わしていない。	● <u>契約を交わしており</u> 、回収・仕分けに関する条項も盛り込まれている。
Q4-1	(行っていない場合) 各レンタルパレット事業者との間で、レンタルパレット利用者がレンタルパレットの適切な管理や保管等の責務を有する旨を規定する契約を結ぶことを検討したことはあるか、また、今後検討を考えているか。		● 回収までの管理期間を短くするために、回収の頻度を上げる工夫が必要である。	
Q5	発荷主から届いたパレットに関して、各レンタルパレット事業者に返却する際の仕分けを自社で実施しているか、回収ドライバー等の回収先担当者が実施しているか。また、仕分けをするにあたり、課題に感じていることは何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>自社で実施している。</u></li> <li>● 仕分けは自社で行っているが、一部のレンタルパレット事業者は、貸し出したメーカー毎に違う色のシールを貼って、色に応じてメーカー毎に枚数管理をしている事業者がある。その場合、個社毎に仕分けを行う必要が生じていることが課題である。</li> <li>● ハンドフォークが使えない両面二方差しパレットの割合が多く、仕分け作業にフォークリフトオペレーターが必須。</li> <li>● トラック1台の回収量（200枚程）に到達しても、回収に来てくれない場合がある。<u>バースを逼迫するため、野ざらしになることもある。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 回収に来たドライバーが実施している。</li> <li>● <u>パレットを種別に分ける際に、管理スペースがない</u>という理由がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>自社で実施している。</u></li> <li>● パレットの仕分けに係る作業は以前より課題となっており、最新のセンターでは、デパレタイズされたパレットをカメラで自動認識して、パレットの種別ごとに仕分けを行っている。一方で、仕分けられたパレットを格納するマガジンには限りがあり、種類が増えると追加の設備投資が必要になる。</li> </ul>

# ヒアリング結果

	内容	A社	B社	C社
Q6	<p>パレット標準化分科会では、“発荷主”“倉庫事業者”“着荷主”がレンタルパレットの専有期間に応じて責任や費用を負担することが②可能な限り推進すべき内容として議論されている。こうした方向性に関して想定されうる課題や、国に対して期待する措置等があれば、教えていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パレットの費用は卸では負担しておらず、新しく増えたコストをどこに転嫁していいのかが整理できないと進めるのは難しい。</li> <li>● 共同回収により、回収回転率が上昇したり、自社で仕分けをしないのであれば、増加コストと比較、検討も可能である。</li> <li>● レンタル事業者毎に異なるシステムやルールでパレット管理するとなると、着荷主側の負担が大きく、パレット事業者共通の標準管理システムで一元管理を希望。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メーカーから届いたレンタルパレットを、自社の保管で再利用しているケースであれば、検討の余地がある。</li> <li>● 一方で、空パレットの滞留を原因とした期間に関しても費用が発生するのであれば、賛同できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体最適を考えなければいけないのは理解しているものの、費用負担が発生することは大きな課題である。</li> <li>● 卸⇒小売りへの輸配送で一部レンタルパレットを使っており、その物流に関わるレンタルパレットの費用は自社で負担している。</li> </ul>
Q7	<p>パレット標準化推進分科会では、面単位もしくはパレット単位での受発注が望ましいとしているが、発荷主の製品特性（パレットあたりの積載数、積み付けパターン）を踏まえた発注単位を検討することを検討したことはあるか、また、今後検討を考えているか。</p> <p>また、検討を考慮する際に、社内外での課題や政府、ステークホルダーに求めることはあるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現状は1ケース単位の発注が主である。</li> <li>● 一部のメーカーでは車単位発注を行っている。</li> <li>● 面単位発注は既存の運用で実施することも考えられる。一方で、<b>出荷数量がかなり少ない商品では難しい。</b></li> <li>● <b>メーカーのパレット積み付け情報をタイムリーに共有出来る仕組みが無い。</b></li> <li>● 一部メーカーでは同一商品でも異なる工場で製造した場合にパレット積み付けが異なる場合や、リニューアルで容量・入数変更した際に積み付けが変更になる等、発注ロット情報をメーカーと卸間で共有しないとパレチゼーションが円滑に進まないリスクがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製品によっては、<b>面単位の発注をしている。</b></li> <li>● <b>商品の在庫回転率によっては、面単位にならないこともある。</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本的にシステム上で制御し、<b>面単位の発注をしている。</b></li> <li>● <b>商品の在庫回転率によっては、面単位にならないこともある。</b></li> </ul>
Q8	<p>発荷主（メーカー）からの納品で使われたパレットを、出荷や保管で再利用することはあるか。</p> <p>もしレンタルパレットと自社パレットの比率が分かれば教えていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 転送の際に再利用していることは考えられる。</li> <li>● 小売への納品時には、パレットを用いていないため考え難い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ほぼない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 転送の際に利用している。</li> <li>● ただ、各拠点にレンタルパレット事業者のシステムが入っているため、枚数管理ができています。</li> </ul>